

2012年9月24日

岡山県知事 石井正弘 様

日本共産党岡山県議会議員団
団長 森脇 久紀

尖閣諸島問題に関する申し入れ

日本共産党中央委員会は、提言「外交交渉による尖閣諸島問題の解決を」を公表し、20日に日本政府、21日に中国大使館に手渡しました。

尖閣諸島問題をめぐる日中間の緊張が深刻になっていますが。日本への批判を暴力で表す行動はいかなる理由であれ許されるものではありません。同時に、双方が物理的対応の強化や軍事的対応をとることも慎むべで、外交交渉によって問題を解決すべきです。

「提言」では、「尖閣諸島の日本の領有は、歴史的にも国際法上も正当である」というわが党の見解を示し、歴代日本政府が「領土問題は存在しない」と「棚上げ」してきたことが、日本の領有を堂々と主張できない原因になっていることを指摘し、「日中間に領土問題があることを認め、冷静で理性的な外交交渉によって解決」することを求めています。

以下、申し入れるものです。

- 1、中国へ進出している企業や中国に行かれています方々、働いている方々等の安全確保がはかられるよう万全の措置をとること。
- 2、外交交渉による解決を国に求めること。

以上